



ま ちかど インタビュー

町民から信頼される議会になろう！

これまでひろの議会だよりや、インターネットを利用して『議場における映像配信』を通じて、議会活動をお知らせしてきました。今回、本町議会定数について、町民の意見を聞きしました。



塩 史子さん(折木)

時代の風潮に合わせ、議員削減が美德のように言われています。しかし若者や女性が立候補しにくくなる一方、執行機関との力関係の均衡が崩れ、監視機能の低下や町民の声が届きにくくなる恐れがある。当町における現在の10人の定数は丁度いいのではないかと、定数削減すると執行機関からすれば最高に都合のいい事になるのではないかと危惧を抱いています。



大和田 芳夫さん(下北迫)

議会映像配信をよく見ますが、町民第一、建設的な発言をする議員がいる一方、チエック機能や政策立案力のない、議員としての資質がそなわっていない議員が多すぎる。町条例を見ると、2期8年一度も質疑できずとも2,400万円以上私たちが納めた税金を頂けるとか、なんと言うことだ強く言いたい、恥を知れ。定数を少数精鋭にし、若い優秀な人材を育てるため、削減議員報酬分を振り分ける必要があると思います。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の第8波が、全国で感染者数を増やし、経済優先で、医療現場が逼迫する自治体が増えた中で12月定例会でした。国の方針で感染者数を発表しないことが日常となり、町の防災無線も人数を知らせなくなりました。しかし、皆さんの不安感は少なくないものがあり、年末には注意喚起という事で防災無線での放送が復活しました。



ひたむきに春を待つサザンカ

町が町民の不安解消と感染症への警戒をしてもうために行った判断は評価されると思います。インフルエンザとコロナの同時感染も言われており、身体を冷やさないことが大切です。春はまだ先ですが、マスク着用等の対応もお忘れなきようにお願い致します。(畑中 大子)

次の定例会は3月です

- 発行・編集責任者 議長 北郷幹夫
- 広報委員会 委員長 阿部憲一
- 委員長 渡邊正俊
- 副委員長 小磯利雄
- 委員 畑中大子
- 委員 北郷伯弘